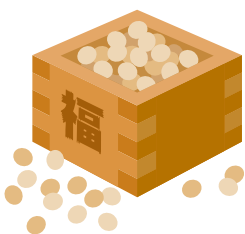


# ひだまり

目次	
散歩道	1
さくら千手園 千手園日記	2
木の宮学園 木の宮日記	3
山 桜 クリスマス会	4
地域生活支援センター レインボー 精神障害者相談支援事業	4
南部よもぎの園 音楽教室	5
折り紙教室	5
佐倉市さくらんぼ園 クラス紹介	6
就学を祝う会	6
さくら福寿苑 クリスマス会	7
餅つき大会	7
新年会	8・9
情報フラッシュ	10



## 散歩道

節分は2月3日だと思っていたら、今年は2日でした。節分の日が固定されていないことを、初めて知りました。季節の変わり目という意味で立春の翌日と決められているようですが、その言葉の通り2月になって暖かい日が続きましたね。今年の節分はご自宅で豆まきはされましたか？さくらんぼ園の子ども達もそれぞれ個性的な鬼のお面を作りました。出来上がった後、お面をかぶって皆にお披露目しました。「上手に出来たね」と褒めてもらって、とっても得意げでした。そこへ突然。「ドンドンドン」「悪い子はいないかなあ」と怖い声が聞こえてきました。ドアがガラツと開いて鬼登場！「ギャー」と悲鳴とともに逃げ回る子ども達。「豆を投げて鬼をやっつけよう」と豆を手渡され、みんな必死に鬼に豆を投げつけます。「鬼はそと・福はうち」見事、鬼は退散。みんな安堵の表情です。子ども達のパワーで新型コロナウイルスも撃退してほしいですね。

指定障害者支援施設生活介護・施設入所支援

# さくら千手園

## 外食企画

## 『味楽庵』

12月10日、15日の2日間に渡り、井野中学校の近くにある『味楽庵』へ出掛けてきました。新型コロナウイルス対策の為、不特定多数の方と接点がないよう定休日に受け入れてくださいました。外出は、昨年の2月14日を最後にテイクアウト企画に切り換えをしてきた為、外で食事をするのは10ヶ月ぶりとなりました。久しぶりの外食の為、利用者の皆さんも事前の聞き取りの時から「どれが良いかな?」「何を食べようかな?」とメニューの豊富さにワクワクが止ま



りません。当日はコロナ対策もバッチリ。さあ、久しぶりの外食の始まりです。

店内は落ち着いた雰囲気です、優しい店主と女将さんがお出迎え。テーブルの上には事前を選んでイカフライ定食やまぐろ井、カツ井が用意されており、それぞれ席に着いていただきました。食事中は「美味しい!」という声と共に笑みがこぼれます。美味しさもさることながら、料理のボリュームに一同ビックリ。「今度来たなら何を食べる?」そんな話題で盛り上がった大満足の外食でした。

(千葉)

## ひな祭り

ひな祭りに向けて数週間前から、食堂にお雛様を飾り、春らしい装飾をしました。それを見てひな祭りを心待ちにしている利用者の方々。「甘酒を飲んでひなあられを食べたい。」「お雛様の衣装を着て写真を撮りたい。」「と次々とあがる意見を汲み取り、企画に取り入れる事になりました。

昼食は、ひな祭りならではの彩りキレイなちらし寿司やお吸い物が出ました。厨房職員お手製のプリンアラモードは、フルーツもたくさんつけていて絶品で、美味しく頂きました。

午後からは食堂でメイスイベント。ひなあられと甘酒を飲み、ひな祭り気分を味わいました。



飲み終わった方からお雛様とお内裏様の手作り衣装を身にまとい、ひな人形の前で記念撮影を行いました。「〇〇さんと撮りたいな。」と恥ずかしそうに話している方もいたり、一度ならず二度三度と自身のお内裏様姿を気に入って、写真に納めに来られる利用者もいました。手作り衣装を身にまとい、飾られている姿はその日に飾られていたどのひな人形よりも素敵に輝いて見えました。楽しそうに参加する利用者の様子を見て職員も嬉しく感じました。

(嶋田)



指定生活介護事業所

# 木の宮学園

## 創作グループ

創作グループは季節に応じた作品やイベント用館内装飾を中心に活動しています。年始用玄関内壁面装飾では畳2畳程の大きさのプラスチック段ボールを使用して木の宮神社を完成させました。模造紙や画用紙にアクリル絵の具や色鉛筆を使用しての色塗り、千代紙の切り抜き等実施して鳥居、石畳参道、賽銭箱を作り、紐を結ったしめ縄には農芸班で収穫した稲穂と結った藁も飾り付け。館内の天井からは折り紙作品を貼りつけた羽子板、絵馬のオーナメント。絵馬にはコロナ終息や健康を願う利用者の文字があり感心しました。だるま・招き猫・おかめ・ひよつとこの立体壁面飾りの他、獅子舞も5体作



製。この獅子舞はかなりの力作で、お声がかかった事もありません。外部へのお披露目機会が今年度は少なかつたのでとても励みになりました。ご来園の際はぜひ利用者が協力し合って作り上げた作品をご覧の上、感想を頂けると嬉しいです。  
(七田)

## 節分



今年の節分は2月2日！節分当日に創作グループ、音楽グループ合同で豆まきを行いました。  
今回は豆をまかずに、鬼に扮した職員が持つ角箱に豆をいれるゲームを実施しました。多く豆を入れたグループが勝ちです。大豆の入った箱が1人ずつに配られ、「よいどん！」の合図で一斉に角箱に向かって豆を投げます。  
「強く投げたらだめだよ」  
「鬼に当たると痛いからね」



「あ、強く投げて鬼の背中に当たっている人がいる！」  
「豆を食べたらだめだよ」  
「落ちていっているのを拾って投げてもだめだよ」  
「あ、拾って投げている！」  
「豆なくなっちゃった」  
「隣の人の豆投げちゃえ」  
「手を伸ばしたら箱まで届くかな？あ、届いた！入れちゃえ」  
「終わりって言われたのに、まだ投げている人がいる！」  
結果は音楽グループの勝利！皆の楽しそうな笑顔と笑い声で厄病退散したかな？  
(市瀬)

指定共同生活援助事業所



### クリスマス会



「やったー。当たったよ！」  
 「これ良いよね。最高だよ。」  
 令和2年最後の行事となった、クリスマス会の様子です。毎年ご家族も招いて盛大に開催していましたが、今年は新型コロナウイルスの影響で、ご家族の参加は叶わず、利用者と限られた職員だけでの開催となりました。今年度早々からの緊急事態宣言で、自慢と我慢の毎日が続いた事もあり、サンタへのお願い事は、サンタに何かを持って来て貰うのではなく、サンタに新型コロナウイルスを持ち帰ってもらいたいという切実な思いでした。クリスマス会の最後の締めは、毎年恒例の抽選会です。何が当たるかは運次第です。景品が陳列されると、包装紙で中身が見えない状態でもじっくりと品定め。手に取って一つひとつの重さを確認した後、いよいよ抽選会です。



景品が決まると、一斉に包装紙を外して中身を確認。皆の景品と見比べながら、自分の景品が一番良いとアピール大会が始まりました。今年の景品は、感染症予防グッズが中心の内容となりましたが、来年は感染症とは無縁の景品が準備できる事を願っています。  
 (金川)

指定相談支援事業所



### 精神障害者相談支援事業

レインボーではそれぞれの障害特性に合わせた相談支援を行っています。その中でも今回は、精神障害者相談支援事業について紹介をさせていただきます。

当事業は、佐倉市には精神科の入院病床がなく、他障害に比べ、社会資源も少ないということから、精神障害者への相談支援を充実させるという目的で、平成23年度より市の委託を受けて開始されました。

具体的には、①レインボーに精神障害者の相談支援を行う際の国家資格である精神保健福祉士の資格を持つ専門職を配置し、②精神障害者とそのご家族を対象とした相談会をミニレニウムセンター、西部保健福祉センター、レインボーで実施するとともに、③市内の各相談支援事業所を対象とした事例検討会を月1回実施し、各事業所の相談員の精神障害者に対する相談支援の質の向上に努めてきました。

談ケースを既存の障害福祉サービスにつなげるにも社会資源が少なく、十分な支援体制を築くことも難しい状況でしたが、現在では、いろいろな社会資源も増え、以前は精神障害者への支援を知識・技術不足や偏見から受け入れてくれなかったという問題も改善されてきました。

また近年では、佐倉市の精神障害者の家族会「かぶらき会の「いこいのひろば」にアドバイザーとして参加し、グループディスカッションの場で助言を行うなど活動の場も広がっています。

現在はコロナ禍ということ、緊急事態宣言中は相談会の会場もレインボーのみでの実施となってしまったり、事例検討会についても書面のみでの対応となってしまったりと、様々な制約がありますが、社会状況等に合わせた相談支援を市とも協議し、少しでも貢献ができるように検討を進めていきたいと思っております。

(鎌田大)



指定就労継続支援B型事業所

# 南部よもぎの園

指定管理者社会福祉法人千手会

## 音楽教室

毎月第1水曜日の9時から行っている音楽教室ですが、新型コロナウイルス感染防止の為、食堂から広い作業室に移動して行っています。季節に合った曲を皆さんがリクエストして歌います。2〜3曲歌い調子が乗ってきたら、先生が用意した様々な楽器を用いてリズムをとります。短い竹刀を使って、流行している鬼滅の刃の「紅蓮華」の曲に合わせて、竹刀を自由に振りながら踊り、最後は決めポーズ。それぞれの個性が光ります。



時にはフラフープを持ちながら隣の方と一緒にダンスをしたりして楽しみます。最後は皆さんが持ってきたCDの曲に合わせて、ドラム演奏をしたり、ピアノを弾いたり、踊ったりします。又、曲に合わせて歌いながら手話を披露してくれます。先生の曲に合わせて一人が踊りだすと次から次へと皆さん前に出て踊りだします。このご時世中々、外に出て気分転換ができないのでこぞとばかりに皆さんはつちやけています。皆さんの楽しい様子を見て職員もパワーをもらっています。皆でこの状況を乗り切りましょう。

(山本奈)

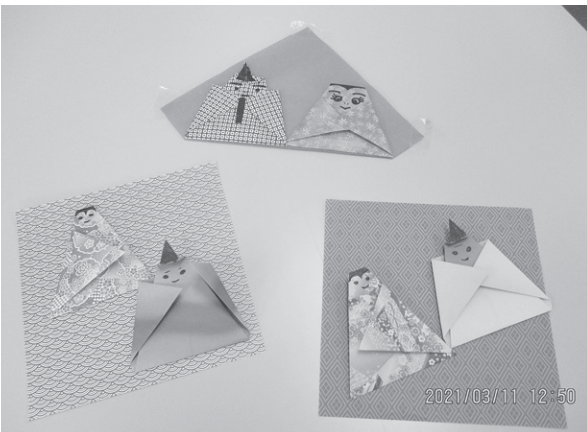
## 折り紙教室

毎月第3水曜日に折り紙教室を行っています。コロナウイルス感染防止の為、広いスペースのある作業室に移動して活動を行っています。今まではわからなくなると、直ぐに隣の人に聞いて助けてもらっていました。席が離れた事によって、一人で考える時間が増えました。ボランティアの先生もマスク着用な為、声がかもってしまい、みなさんへの指導が一苦労です。「皆さんの上達ぶりはすごいですね」とお褒めの言葉をいただき皆さん張り切って参加しています。今月はお雛様とお内裏様を作りました。一枚目は職員の介助多めで折りましたが、二枚目は自分で考えながら折っています。体を作る時に、折り紙に折り線をつける動作



(四角く半分折り、開く)が難しく、苦戦している方がたくさんいました。職員やボランティアの先生に手伝ってもらいながらなんとか体が出来上がりました。最後にかんむりやえぼし等の飾りをつけたり、顔と模様を描いたりして完成です。出来上がった作品を見ると、大きさや表情が違った個性的なお雛様とお内裏様でした。去年は、新型コロナウイルス感染症の影響で障害者作品展が中止になり皆さんの作品を見てもらえませんでした。今年度は上達して作品を見せられることを祈ります。

(山本奈)



指定福祉型児童発達支援センター

# 佐倉市さくらんぼ園

指定管理者社会福祉法人千手会

## クラス紹介

今回は4〜6歳児の「お正月遊び」を紹介します。どの遊びも友だちや保護者と一緒にとっても楽しそうに遊んでいました。特に凧とコマは自分で作ったので、お土産で帰るのがとても嬉しそうですね。また色々な活動をみんなでやるのが楽しみです♪

(安井)



## 就学を祝う会

「就学おめでとうございます」今年度はうさぎ、らいおん、とら組の3クラスから23名の就学児が卒園しました。昨年度から新型コロナウイルスのため全体としての行事ではなくクラス毎の時間差で行い、出席者も就学児とご家族のみになりました。就学を祝う会は就学児にとってさくらんぼ園で過ごす最後の日です。お祝いの気持ちがたくさん詰まった拍手の中、ビシッと決まった正装に身を包んだ就学児はすっかりお兄さんお姉さんの顔になっていました。私自身が一番感動したのは3クラスの各担任と今まで関わってくれた先生方が一人ひとりの子どもの姿を思い出しながら、嬉しい気持ちがいっぱい詰まった証書授与でした。

そして、子どもと一緒に通ってくれたご家族に対しても感謝の言葉を伝えまし



た。最後にさくらんぼ園での思い出を振り返ることの出来る『思い出のアルバム』を、オンラインチャイムで演奏し、事前に録音しておいた職員の歌を流しました。昨年度同様短い時間での行事にはなりましたが、就学児が次の新しいステージに進んでいくことをお祝いする気持ちはしっかりと伝えることが出来たと思います。4月から新たな場所で素敵な仲間たちと頑張っていくって欲しいです。そしてまた元気な姿を見せに来てくださることを楽しみにしています。

(岡)



地域密着型特別養護老人ホーム

# さくら福寿苑

## クリスマス会

12月25日クリスマス会をそれぞれのユニットにて開催しました。プレゼント付ビンゴ大会では、早々にリーチになってもなかなかあと一つが出ず、イライラとワクワクが続き、最後の一人が当選すると全員笑顔と歓声。サンタクロースのプレゼントは袋の中に3つ、4つと入っていて驚きでした。おやつはケーキバイキングとなり、小さくてかわいいケーキを何個もでも選んで、選ぶ楽しみも加わり好評でした。



閉会のあいさつの後、「また、来年も元気にクリスマスを迎えようね」と少人数でのクリスマス会でしたが楽しいクリスマス会が開催できました。

(武藤)



## 餅つき大会

一年を締めくくくる行事として、12月28日に「餅つき大会」を行いました。感染対策を行った上で、ユニット合同の開催となり、当日は、会場となるユニット2のリビングに、お借りした立派な杵と臼を設置しました。2時の開会と共に、身支度を整えた職員たちが、蒸したてのもち米をつき始めました。餅つきの歌を流しながら、交代でリズムよく餅をつきました。迫力のある音が響き、「昔はよくやったなあ」と話される方もおりました。ご参加いただける方には、杵に手をそえて職員と一緒に餅つきを行いました。他のご利用者からも「よいしょ、よいしょ」と掛け声があがり、賑やかな会となり、完成した餅は、職員が手早く鏡餅にして各ユニットに飾りました。

3時のおやつは、お汁粉を提供しました。ご利用者のおいしい笑顔を見ることができ、来年も皆さまが元気で一

年をお過ごし頂けるように、努力して参ります。

(須田)



さくら千手園

昨年引き続き、コロナウイルス感染防止の為、残念ながら保護者の参加が認められず、山桜と合同で行われた新年会。

毎年恒例の還暦祝いでは、いつまでも元気でいられますようにと願いを込め、ちゃんちゃんこが贈呈されました。すぐに着て、記念品を満面の笑みで受け取っていました。

新年会が始まると次々と新年ならではのイベントが繰り広げられました。手作りのおみくじで運試し！小吉、中吉、大吉が入っていますが、大吉の数は極わずか！大吉を当てた方は、「やったー！」と大喜び。



利用者同士熱い勝負を繰り広げたのは羽子板対決。勝った人は負けた人に筆で顔に落書きする事ができます。勝つ為にもどちらも真剣な様子でしたが、負けて書かれてしまった方も落書きされた所を指差しながら「書かれちゃったよー。でも、楽しかったよー」と笑って話してくれました。その後、ゆっくりと甘酒を

利用者が聞いた事があるような昭和の曲をメドレーで披露。もうひとつのグループは今人気の『Niz i U』『ももいろクローバーZ』の曲を披露し、男性職員も女装をして可愛く踊っていました。そんな職員に笑っていたり、ステージの近くへ来てノリノリで一緒に踊っていたりして大盛り上がり。ホール棟で楽しんだ後は昼食を食



飲んでいると獅子舞が登場！獅子舞に噛んでもらえ無病息災な一年になる事でしょう。イベントの中でも好評だったのは職員2グループによるダンス披露！『め組のひと』『男の勲章』『前略、道の上より』

等利用者が聞いた事があるような昭和の曲をメドレーで披露。もうひとつのグループは今人気の『Niz i U』『ももいろクローバーZ』の曲を披露し、男性職員も女装をして可愛く踊っていました。そんな職員に笑っていたり、ステージの近くへ来てノリノリで一緒に踊っていたりして大盛り上がり。ホール棟で楽しんだ後は昼食を食

利用者の笑顔がたくさん見ることができ、一年の最初の行事にふさわしい会ができたのではないかと思います。来年こそは保護者も参加でき、よりよい新年会になりますように。

べに食堂へ。食堂の天井はアトリエホームの利用者が作った可愛い丑の吊るし飾りで装飾され、とても華やか。食べている途中には「これは、僕が作ったんだよ。」と得意気に話している声も聞こえてきます。例年はない花の形をした入れ物の中にはちらし寿司が入っており、豪華なお弁当とデザートも頂き、お腹いっぱいで大満足の様子でした。利用者の笑顔がたくさん見ることができ、一年の最初の行事にふさわしい会ができたのではないかと思います。来年こそは保護者も参加でき、よりよい新年会になりますように。

(佐藤萌)





木の宮学園

今年も無事に新年会を行うことができました。

開会宣言後は音楽グループの発表です。「ありがとう」「RPG」アンコール曲として「切手のないおくりもの」を披露。手作りの衣装と楽器を使用した発表に会場は大盛り上がりです。何より皆の笑顔が素晴らしいかったです。発表後はグループに分かれてクイズ大会です。「今年はなに年でしよう？」グループみんなで意見を出し合い、答えを考えます。正解数の多かったグループからお菓子の景品を貰いました。クイズ大会で終わりかと思いきや、次はビンゴ大会です。ビンゴになった人から選べる豪華景品は、たこ焼き器・ラジコン・手袋・鞆など：1番人気の大袋のお菓子はあつという間になくなってしまいました。その後は餅つきを行いました、昼食は厨房職員お手製のちらし寿司や筑前煮、お雑



煮などお正月らしい豪華なメニューです。お腹いっぱいにおいしい昼食を堪能し、1年間のスライドショーをゆっくりと鑑賞して楽しい新年会は終了しました。

(栗田)



1月18日、ユニット合同で新年会を行いました。コロナ禍の中、ユニット合同での行事となり、開会前からニコニコ嬉しそうな顔をされていました。

ご利用者の新年の抱負から始まり、お正月の歌を合唱、そして職員による獅子舞をしました。ご利用者の新年の抱負は「美味しいものを食べたい」「健康でいられまうすように」が多く、家族の健康を願っている方もいました。

獅子に頭をかじられると縁起が良いと言われています。「キヤー」と獅子から逃げようとするご利用者、勇敢に獅子に立ち向かうご利用者もいましたが、最後は全員、頭をかじられ喜ばれていました。

ご利用者の笑顔をたくさん見ることができ、楽しい一時となりました。

今年もご利用者にたくさんのお幸福が訪れますよう、そして

さくら福寿苑



て一日も早くコロナ禍が収束しますようお願いしています。

(松本)

# さくら千手園『防護服研修』



新型コロナウイルスのワクチンが開発され、日本でも医療従事者から優先接種が開始しました。まだ気は抜けない状況ではありますが、雲の切れ間から光が差し込んだような希望にあふれたニュースがとても嬉しいです。

さくら千手園では看護師の指導の下、職員が防護服研修を行い、万が一に備えています。備えあれば憂いなしとも言いますが、今後防護服を着る事にならないよう、感染症予防対策に努めていきます。(近藤)



新型コロナウイルス感染対策グッズ



まずは手洗いから。手の洗い方にも順があるので看護師から聞きながら行います。



隙間から菌が入らないよう、念入りにチェックが入ります。有事に備えてたとえ研修でも本番さながらに実践しています。



- 南部よもぎの里 職業指導員 松岡 恵
- ① ソフトバレーボール ② なし
- ③ 新潟県 ④ あんこを食べる
- ⑤ 木村拓哉

- ① 車 ② 細かい作業 ③ 千葉県松戸市
- ④ スクラッチアート
- ⑤ 深田恭子



さくら福寿苑 介護職員 小坂橋 靖博

- ① ゴルフ ② なし ③ 大阪
- ④ YOUTUBEで動画探し
- ⑤ 天海祐希



さくら福寿苑 生活相談員 介護支援専門委員 前島 忠介

- ① 趣味 ② 特技 ③ 出身地
- ④ マイブーム ⑤ 好きな有名な人

よろしくお願ひします

- \* 鎌ヶ谷市社会福祉協議会様
- \* 佐倉ライオンズクラブ様
- \* 木の宮学園「虹の会」様

ご寄付に感謝いたします

お世話になりました

- ☆ 鈴木 敏雄 (さくら千手園)
- ☆ 寺地 順子 (木の宮学園)
- ☆ 堀江 佳絵 (レインボー)
- ☆ 金杉 浩二 (さくら福寿苑)
- ☆ 岡田 素子 (さくら福寿苑)

編集後記

コロナ禍で利用者が楽しみにしている様々な行事が中止になり各事業所では試行錯誤しながら代替えとなる行事を行ってききました。先日、面会にいらしたあるご家族から「いろいろ規制された生活を送っている中でもイライラしている表情が感じられず、安心しました。職員の皆様に感謝します。」という有難い言葉をいただきました。また、日々の生活の中では小さなポジティブを見つけることで、充実感や感謝の思いをたくさん感じられる一年となりました。

まだまだ先の見えない状況は続きますが小さな幸せを探していきましょう。大変な危機を一緒に乗り越えた経験はきっと後々の力になると信じて。(金沢)

